

平成 25 年 7 月 24 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 東証 JASDAQ 市場)
問合せ先 執行役員 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

ゼボラリゾートの自然環境保護への取り組みが紹介されました

～高級ネイチャーリゾートとして高い評価が続く～

当社グループが保有する高級リゾートホテルであるゼボラリゾートの取り組みが、タイの大手英字新聞 Nation に掲載されましたのでご紹介いたします。

ゼボラリゾートはタイ・ピピ島で最大のプライベートビーチを保有し、スモールラグジュアリーリゾートとして高く評価を受けてまいりましたが、環境保全型のエコロジーリゾートとして自然環境保護にも注力しており、ネイチャーリゾートとしても高い評価を受けています。

以下 2013 年 7 月 17 日 『Nation』 紙面より

野鳥の保護に取り組むゼボラリゾート

スキューバダイビングで知られる高級リゾートであるゼボラは、水上においても野鳥観察会を通じて自然保護と環境教育に取り組んでいました。旅行者や鳥類学者にとり、島に棲息する美しい熱帯の野鳥たちの群れを見る絶好の機会となっています。

ゼボラを取り囲む樹々に生息するクリムゾンサンバードのような魅力的で珍しい多くの鳥の存在もあり、最近ゼボラリゾートは PADI の 5 つ星リゾートに加わりました。リゾートは、宿泊者や訪問者にこの素晴らしい生き物たちにより近づきやすいよう工夫を進めています。

「この数年間のあいだに、ゼボラ周辺の木々に住まう多くの熱帯鳥に私たちは気付いていました。リゾート内に生息し、繁殖する鳥として 18 種を確認しており、このような素晴らしい自然は宿泊者や訪問者と共に眺めるのにふさわしいものと思っています。」と Florian Hallermann ゼネラルマネージャーは述べました。

またプーケット海洋生物センターからまもなくグリーンフィンリゾートとして認定される

予定のゼボラは、環境保護に対して常に実践的なアプローチで望んでおり、最近では「コーラル・フリーダム」と名づけた珊瑚礁の監視と再生プロジェクトを立ち上げています。



敷地内で見られるクリムゾンサンバード (Crimson Sunbird)

「ピピ島周辺の水中および陸上の魅力的な野生動物に関する知識を得てもらうことで、この地の生態系に迫る脅威にも目を向けることができます。宿泊者や訪問者にとって楽しみながら意義ある休暇を過ごしてもらえます。」と Hallermann 氏は話しました。

ゼボラのバードウォークやアンダマン珊瑚礁への保護に関わる活動は、地域社会や野生保護プロジェクトに参加する幅広い活動の一部となっています。例えばゼボラでは4つの深井戸と逆浸透膜ろ過プラントによって不要な水の消費を最小限に抑える貯水システムを設置しています。そのような多くの取り組みを通じゼボラはリゾートの随所で持続可能性や環境保護への取り組みを実行しています。

※ Zeavola Resort 公式ウェブサイト <http://www.zeavola.com/>

※ 記事本文は下記ウェブサイトでも確認できます(英語)

<http://www.nationmultimedia.com/business/Zeavola-aims-to-protect-birds-30210620.html>

以 上